

浅間神社の神楽

Sengen Shrine's Kagura Ceremonial Dance



Foreign Languages

千葉県指定文化財

指定年月日 昭和37年(1962)5月1日



陣中安産の舞

稻毛の浅間神社で奉納される神楽は、日本神話を題材とした岩戸神楽や神代神楽と総称される神楽の一つです。永正元年(1504)に九州方面から伝えられ、旧家の長男に伝承されてきました。現在も神社の氏子によって組織される稻毛浅間神社神楽連により守られています。

神を招く「巫女の舞」から始まり、神話を題材とした演目の後、神を送る「お囃子の舞」に終わる十二座の神楽が奉納されています。すべて面をつけて黙劇風に進行し、能舞台を模した神楽殿で舞われることなど、江戸神楽の影響を受けていますといわれています。神社のお祭りのうち、歳旦祭(1月)、祈年祭(2月)、例祭(7月)、新嘗祭(11月)の際に神楽殿で奉納されています。



須佐之男命大蛇退治の舞

令和7年(2025)3月 千葉市教育委員会